

横浜市道志青少年野外活動センターの指定管理者指定について

1 横浜市道志青少年野外活動センター指定候補者の名称、指定期間

指定候補者：財団法人 横浜市体育協会（2年間：平成23年4月1日～平成25年3月31日）
※指定期間は、施設の老朽化等に課題があり、23年末までに今後の方向性を整理するため、2年間とした。

2 指定候補者選定・評価方法、選定の経過

指定候補者の選定に当たっては、短期間の暫定的な運営となるため、円滑な運営を期して、これまでに実績のある「財団法人 横浜市体育協会」を審査の対象とし、非公募による審査を行った。

(1) 応募資格確認

要項上の応募資格の確認

(2) 選定方法

第1次審査：書類審査、財務状況診断等

第2次審査：プレゼンテーション

(3) 評価方法

基本方針、事業計画、管理運営等の評価基準により総合評価を行った。

（各委員配点105点 委員全員の平均点をもって評価点とした。）※最低基準点60点

(4) 選定委員会

22年12月14日 第1次審査（書類審査等）

23年 1月6日 第2次審査（プレゼンテーション）

3 選定委員会委員

委員長	犬塚 文雄	横浜国立大学教育人間科学部附属教育デザインセンター 教授
委員	石井 一也	横浜市青少年指導員連絡協議会 会長
	上坂 涉	社団法人神奈川県経営診断協会 副理事長
	栗原 秀泰	横浜市PTA連絡協議会 役員
	小松 督	関東学院大学工学部 教授

4 指定候補者に関する評価・意見、選定結果

基本方針、事業計画、管理運営等について提案内容を審査した結果、老朽化が課題とされる施設の運営において、安定した施設管理体制が確保されているとともに、マネジメント力も非常にしっかりしており、安心感があることなどが評価された。

指定候補者	点数
(財)横浜市体育協会	90.0/105

【参考】横浜市道志青少年野外活動センターの概要

- (1) 所在地：山梨県南都留郡道志村字大指^{おおざし}（キャンプ場）、字平久住^{ひらくずみ}（スポーツ広場）
- (2) 現指定管理者：財団法人 横浜市体育協会
- (3) 指定管理期間：平成18年4月1日～平成23年3月31日
- (4) 指定管理料：14,842千円（平成22年度予算）
- (5) センター使用料：無料（実費のみ）
- (6) 根拠条例：横浜市青少年野外活動センター条例（昭和43年制定）
- (7) 設置目的：横浜市の青少年に自然環境における共同生活の場を提供することにより、その心身の健全な発達を図ること。

キャンプ場の概要・施設の利用状況

- (1) 開設：昭和44年（昭和48年現地移転）
- (2) 敷地：68,700㎡
- (3) 施設概要：管理棟、雨天集会場、野外炊事場、キャンプファイア場、テントサイト4か所他
- (4) 利用期間：7月中旬から8月31日まで
- (5) 利用状況：横浜市民利用率98%（平成21年度）

利用者数	19年度	4,336人	20年度	4,303人	21年度	4,442人
------	------	--------	------	--------	------	--------

スポーツ広場の概要・施設の利用状況

- (1) 開設：昭和53年（市と村の交流施設として位置付け）
- (2) 敷地：7,438㎡
- (3) 施設概要：クラブハウス、テニスコート2面、多目的広場、ゲートボール場1面
- (4) 利用期間：通年 休所日：年末年始、施設点検日
- (5) 利用状況：横浜市民利用率64%・道志村民利用率19%（平成21年度）

利用者数	19年度	5,152人	20年度	5,957人	21年度	4,274人
------	------	--------	------	--------	------	--------